

年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演 習
科 目 名	生体機能代行装置学実習 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期	教室名	臨床工学実習室
担 当 教 員	小林 幸造	実務経験と その関連資格	急性期病院・透析専門クリニックにて勤務経験あり			
《授業科目における学習内容》						
血液浄化装置に関する操作及び保守管理、点検方法を中心に実習する						
《成績評価の方法と基準》						
出席点20%、実技試験30%、レポート評価50%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
プリント						
《授業外における学習方法》						
プライミングにおける実技試験を行うので、放課後などを利用し練習しましょう。						
《履修に当たっての留意点》						
出席することが一番大事なので成績の評価に出席点を入れています。						
授業の方法			内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第16回	演習形式	授業を通じての到達目標	血液回路のプライミングができる		透析用監視装置 血液回路	放課後などを利用し、プライミングの練習
		各コマにおける授業予定	血液回路のプライミング⑧			
第17回	演習形式	授業を通じての到達目標	循環ポンプの構成と仕組みについて理解し、説明できる		循環ポンプ プリント	本日の内容のレポート作成
		各コマにおける授業予定	循環ポンプの構成と仕組みについて			
第18回	演習形式	授業を通じての到達目標	循環ポンプのオーバーホールができる		循環ポンプ	本日の内容のレポート作成
		各コマにおける授業予定	循環ポンプオーバーホール			
第19回	演習形式	授業を通じての到達目標	除水ポンプの構成と仕組みについて理解し、説明できる		除水ポンプ プリント	本日の内容のレポート作成
		各コマにおける授業予定	除水ポンプの構成と仕組みについて			
第20回	演習形式	授業を通じての到達目標	除水ポンプのオーバーホールができる		除水ポンプ	本日の内容のレポート作成
		各コマにおける授業予定	除水ポンプのオーバーホール			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	演習形式	授業を通じての到達目標	カスケードポンプの構成と仕組みについて理解し、説明できる	カスケードポンプ プリント	本日の内容のレポート 作成
		各コマにおける授業予定	カスケードポンプの構成と仕組みについて		
第22回	演習形式	授業を通じての到達目標	カスケードポンプのオーバーホールができる	カスケードポンプ	本日の内容のレポート 作成
		各コマにおける授業予定	カスケードポンプのオーバーホール		
第23回	演習形式	授業を通じての到達目標	その他の部品の構成と仕組みについて理解し、説明できる	プリント 電磁弁 ヒータ 漏血センサ など	本日の内容のレポート 作成
		各コマにおける授業予定	その他の部品の構成と仕組みについて		
第24回	演習形式	授業を通じての到達目標	その他の部品のオーバーホールができる	電磁弁 ヒータ 漏血センサ など	本日の内容のレポート 作成
		各コマにおける授業予定	その他の部品のオーバーホール		
第25回	演習形式	授業を通じての到達目標	バスキュラアクセスについて理解し、説明できる	プリント	本日の内容のレポート 作成
		各コマにおける授業予定	バスキュラアクセスについて		
第26回	演習形式	授業を通じての到達目標	穿刺に操作を理解できる	穿刺針 模擬手	本日の内容のレポート 作成
		各コマにおける授業予定	穿刺		
第27回	演習形式	授業を通じての到達目標	エコーの使い方を理解できる	超音波診断装置 模擬手	本日の内容のレポート 作成
		各コマにおける授業予定	エコー①		
第28回	演習形式	授業を通じての到達目標	エコーで血管を見ることが出来る	超音波診断装置 模擬手	本日の内容のレポート 作成
		各コマにおける授業予定	エコー②		
第29回	演習形式	授業を通じての到達目標	水質管理について理解し、説明できる	塩素チェック液 細菌培養セット	本日の内容のレポート 作成
		各コマにおける授業予定	塩素チェック・細菌培養について①		
第30回	演習形式	授業を通じての到達目標	水質管理を実際に行うことができる	塩素チェック液 細菌培養セット	本日の内容のレポート 作成
		各コマにおける授業予定	塩素チェック・細菌培養について②		